

●プレゼンテーション能力

	到達目標	評価する能力		5	4	3	2	1	
A	1) 課題の内容に対する歴史的な背景や周囲の状況を把握でき、課題の目的が明快に説明できる。 2) 調査・研究方法・結果をその道筋に沿って説明できる。 3) 十分な検証のもと、結果を課題と関連づけて説明し、結果の持つ意味合いを理解している。 4) 課題解決法の特徴・オリジナリティを示し、今後の展望について述べるができる。	発表事前準備力	1	課題の内容に対して	十分に歴史的な背景や周囲の状況を調べ、さまざまな角度から考えて把握できており、課題の目的を明快に説明できる。	歴史的な背景や周囲の状況が正確に把握できており、課題の目的を明快に説明できる。	歴史的な背景や周囲の状況が把握できており、課題の目的を説明できる。	学習しているが、不十分である。	学習が足りていない。
			2	調査・研究方法・結果について	その道筋に沿って効果的に説明でき、優れたオリジナリティを示すことができる	その道筋に沿って効果的に説明できる。	その道筋に沿って説明できる。	説明しているが、不十分である。	説明していない。
			3	結果と課題の関連づけについて	関連づけて説明し、結果の持つ意味合いを十分に検証したうえで理解できる。	関連づけて説明し、結果の持つ意味合いを検証し理解できる。	関連づけて説明し、結果の持つ意味合いを理解できる。	ある程度関連づけることができる。	関連づけていない。
			4	課題解決法と今後の展望について	課題解決法の特徴・オリジナリティを示し、今後の展望について説得力をもって述べることができる。	課題解決法の特徴・オリジナリティを示し、今後の展望について述べるができる。	課題解決法を示し、今後の展望について述べるができる。	述べているが、不十分である。	述べていない。
B	1) 資料やOHP等が適切に用意できる。 2) 発表の道筋をよく理解しており、堂々とした態度で発表できる。 3) 質問の意味と意図を正確に把握して的確な答えをスムーズに話すことができる。	発表表現力	1	資料やスライド・OHP等について	相手に理解させようと努力してオリジナリティがあるものを適切に用意している。	相手に理解させようと努力して適切に用意している。	適度に用意している。	用意しているが、不十分である。	用意していない。
			2	発表の道筋と発表の態度について	発表の道筋をよく理解しており、堂々と発表し(声、表情を含む)、相手から十分な理解を得ることができる。	発表の道筋をよく理解しており、堂々と発表する。	発表の道筋をよく理解しており、問題なく発表する。	発表の道筋を理解しており、問題なく発表する。	発表の道筋がたつておらず、発表の態度に問題がある。
			3	質問について	質問の意味を正確に把握して的確な答えをスムーズに話すことができる。	質問の意味を正確に把握して的確な答えを話すことができる。	質問の意味を正確に把握して答えを話すことができる。	質問の意味を把握して答えているが、不十分である。	質問の意味を把握していない。的確な答えをしていない。